

藍住町

第115号

2023(令和5)年11月25日

議会だより

9月定例会 中学生議会	P.2～3
令和4年度一般会計・特別会計決算認定 常任委員会	～主な質疑～ P.4
一般質問	～町政のここが聞きたい～	... P.6～12
わたしの一言	P.16

藍住町議会
ホームページ

(アドレス)

<https://www.town.aizumi.lg.jp/gikai/>



次代を担う若者たち
～中学生議会開催～

議会

藍住町議会議事堂議場において中学生議会が
含む7名、藍住東中学校からは副議長を務め
が議員として一般質問を行いました。

議長



藍住中学校3年
小池 葉月

私は、今回の中学生議会で2度目の参加となります。昨年は傍聴席での参加でしたが、今年は議長として前で中学生議会の進行を務めさせていただきますました。

後ろで座っていたときと違い、大人の方たちと前に座っているという緊張感はありませんが、中学生として町の改善案を町議会に直接もちこむことができたのは貴重な体験となったと思います。

また、町づくりに私たち中学生が関わることで藍住町がさらに住みやすい町に変わってほしいと思いました。

藍住中学校2年
和田 珠希



問 食品ロスについて町としてどのような取組をしているか。

答 国民運動として取り組むため、食品ロスの削減の推進に関する法律が施行されている。食品ロスの削減には、もったいないと思う心が大切で、和田議員の思いが学校をはじめ地域にも広がるよう町としても引き続き啓発等に努めていく。

藍住中学校3年
松本 伸一



問 町で新型コロナウイルス感染者数を発信する予定はないのか。また、感染対策はどのようなものか。

答 法律に基づいた調査で県が定点報告数を公表しており町独自で発表する予定はない。感染対策は、定点報告数に基づく県独自の注意喚起メッセージを参考に、自主的な取組をお願いしたい。

藍住中学校2年
清水 伊吹



問 町内の不審者の出没状況や対策は。また、暗く危ない道に街灯を増やしてほしい。

答 昨年度、不審者情報が16件寄せられ保護者へメール発信を行った。対策として、巡回活動、警察等と協力し教室の開催等を行っている。街灯は設置基準があり状況を総合的に勘案し必要と認める場合に設置している。

藍住中学校3年
丸山 美月



問 ブロック塀の調査を行い、危険箇所を発信してほしい。

答 総点検等を行い、現在、町有施設に危険なブロック塀はない。一般の建物のブロック塀は、安全点検している。ただくよう広報している。危険箇所の発信は個人情報などが関係し難しい。今後も避難訓練などを通じ確認し注意していただきたい。

藍住中学校2年
川口 結羽



問 体育や部活動での熱中症アラート時における対策を教えてください。

答 アラートが発令されている際には運動を続けることは避けるべきだと考える。また、アラートが出ていない場合でも、暑い時期の運動は十分な注意が必要である。ミスト設備の配置など、できることから対策していきたい。

藍住中学校2年
安藝 華



問 町立図書館での自習を認めてほしい。学生が積極的に学習に集中できる環境づくりをお願いしたい。

答 アンケート調査を行い自習室のあり方を検討していく。冬休みなどを利用して、町立図書館の調べ物コーナーなどの一部を自習スペースとして試験的に開放するなどの対応ができればと考えている。

中学生

10月31日、若者の政治への関心を高めるため、開催されました。

藍住中学校からは議長を務めた小池葉月さん、た瀬部京介さんを含む7名が参加し、うち12名質問及び答弁については次のとおりです。

藍住東中学校3年
瀬部 京介



副議長

僕は、今回中学生議会の副議長というなかなかできない貴重な体験をさせていただいたことを、大変光栄に思っています。

中学生議会に参加して、町議会がどのような形で開催されているのか、またどういった方々が議会に出られているのかを知ることができました。さらには、副議長としての責任を感じることもできました。

藍住東中学校生徒会長としての最後の大会を無事果たすことができてよかったです。

藍住東中学校3年
藤本 知花



問 勝瑞駅のトイレをリニューアルしてほしい。

答 勝瑞駅のトイレは、JR四国が所有、管理する駅舎の一部であり、同社が顧客サービスのひとつとして設置し開放しているものと認識している。公共性の高い施設であるが、町が主体となり民間企業の設備を改修することは現時点で考えていない。

藍住東中学校3年
山本 歩実



問 通学で利用する道路を安全なものにしていただきたい。

答 交通事故等が起こらないよう、引き続き、道路や交通安全施設の整備に努めています。また、毎年、定期的に県や警察、学校、町担当課で構成する、藍住町通学路安全対策推進会議が開催されており、危険箇所の把握、改善に努めています。

藍住東中学校3年
古澤 杏慈



問 サッカーやバスケットボールのできる大きな公園をつくってほしい。

答 現在、本町において屋外型スポーツパークを整備する構想がある。アンケート調査を実施し、親しんでいる種目などを把握し、気軽に遊べ、また、本格的に取り組める環境を整え、運動能力の向上、運動不足の解消につなげたい。

藍住東中学校3年
藤田木乃葉



問 南海トラフ巨大地震の対策について教えてほしい。また、避難場所等が確保されている建物を建てる予定は。

答 補助事業の実施、ハザードマップの配布、避難訓練等の開催、また、各中学校等に備蓄倉庫を設置している。今後も他の自治体の事例や町民の意見等を参考に対策を進めていく。

藍住東中学校3年
妹尾 風薫



問 町の魅力を広めるために、行っている取組を教えてください。

答 勝瑞城館跡のホームページ開設やイベントの開催、藍の館のリニューアルプランや施設案内の充実などを行っている。町の広報では、広報紙を今月から電子書籍ポータルサイトへ掲載するとともに町公式SNSの導入に向けた準備を進めている。

藍住東中学校3年
森下 実咲



問 町が行っている地球温暖化への対策を教えてください。

答 現在、藍住町第3次地球温暖化対策実行計画において、温室効果ガスの削減のため、省エネルギー設備導入の推進など4つの取組方針を設定し全職員が一丸となり取り組んでいる。行政として自ら率先、誘導し町全体の対策推進に努めたい。

9月定例会

9月議会定例会が9月5日から20日までの16日間の会期で開会され、次の議案について審議しました。
一般質問では7人の議員が登壇し、町政について質問しました。

★令和4年度 決算認定★

端数処理により、誤差が生じる場合があります。

区分	歳入額	歳出額	継続費遞次繰越・繰越明許費	実質収支額	
一般会計	145億220万円	135億4,282万円	5,985万円	8億9,953万円	
特別会計	国民健康保険事業	34億7,576万円	32億9,277万円	0円	1億8,299万円
	介護保険事業	28億8,619万円	26億9,141万円	0円	1億9,478万円
	介護サービス事業	1,088万円	1,088万円	0円	0円
	後期高齢者医療事業	4億3,984万円	4億2,765万円	0円	1,219万円

区分	収入総額	支出総額	収益的収支純利益(消費税調整後)および資本的収支不足額	
水道事業会計	収益的収支	5億4,724万円	4億7,665万円	4,677万円
	資本的収支	836万円	3億1,576万円	※△3億740万円
下水道事業会計	収益的収支	3億6,981万円	2億9,152万円	7,511万円
	資本的収支	2億825万円	3億281万円	※△9,456万円

※水道事業・下水道事業の資本的収支不足額については、内部留保資金等で全額補填しました。

～町長提案～

- 令和5年度藍住町一般会計補正予算の専決処分の報告と承認 可 決
- 令和4年度藍住町一般会計歳入歳出決算の認定 可 決
- 令和4年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)歳入歳出決算の認定 可 決
- 令和4年度藍住町特別会計(介護保険事業)歳入歳出決算の認定 可 決
- 令和4年度藍住町特別会計(介護サービス事業)歳入歳出決算の認定 可 決
- 令和4年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)歳入歳出決算の認定 可 決
- 令和4年度藍住町水道事業会計利益の処分及び歳入歳出決算の認定 可 決
- 令和4年度藍住町下水道事業会計歳入歳出決算の認定 可 決
- 令和5年度藍住町一般会計補正予算 可 決
- 令和5年度藍住町特別会計(介護保険事業)補正予算 可 決
- 藍住町総合文化ホールの設置及び管理に関する条例の一部改正 可 決
- 藍住町保育所条例の一部改正 可 決
- 藍住町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 可 決
- 藍住町子ども・子育て会議条例の一部改正 可 決
- 町道の路線認定 可 決
- 町道の路線廃止 可 決

～議員提案～

- 藍住町議会議員政治倫理条例の一部改正 可 決
地方自治法等が改正されたことに伴う改正を行いました

～諮問～

- 人権擁護委員候補者の推薦 山田昌俊氏

令和5年第2回臨時会

10月16日開催の臨時会において次の議案が上程され、可決しました。

- 藍住町合同庁舎再生可能エネルギー設備等導入事業請負契約の締結 可 決
契約金額 7,339万2千円 契約の相手方 四電エナジーサービス株式会社 徳島支店

常任委員会 主な質疑

厚生常任委員会

委員長 前田 晃良

令和4年度
国民健康保険事業特別会計決算

〔国民健康保険税〕

問 不納欠損額が735万8400円となっているが、具体的な中身は。また、収入未済額が1億円を超えているが、この中身は。

答 不能欠損額は、令和4年度、滞納処分停止を3年間継続したものが33万800円、5年の時効が完成したものが476万9747円、即時消滅させたものが225万7853円となっている。収入未済額は、国民健康保険は一般の保険に入れない方が多く、収入額について、不足を持たれている方が未収として残っていると認識している。個別に分納等の相談を進め、なるべく縮減できるように努力をしている。

問 住所を転々と変更し行方不明になったり、亡くなられた方への対応は。

答 基本的に催告書や通知を送っており、届かない方については調べ、できる限り追跡を行い、連絡を取って対応を進めている。

建設産業常任委員会

委員長 近藤 祐司

令和4年度
一般会計決算

〔農業費〕

問 オーガニックについて、いくらか

答 予算組みはしてあるのか。今後、検討の余地はあるのか。

問 オーガニック農作物を作るという

答 町単独の補助金はないが、県のほうで低減農薬で取り組んだ場合に補助金が出る制度があるので活用していただきたい。環境に配慮した農作物を推進していきけるよう、町としても広報などを行っていきたい。

令和4年度
水道事業会計決算

〔不用額〕

問 不用額が2億9379万9657円となっているが、なぜこんなにあるのか。

総務文教常任委員会

委員長 森 伸二

令和5年度 一般会計補正予算

〔自転車用ヘルメット購入費補助事業〕

問 県からの補助があると思うが。

答 県の補助金は市町村に対する支援という形であり、市町村が3000円を補助するのであれば、その半分を県が補助するという形になっている。

問 9月5日から高校生も対象にすることをいつ。

答 受付はしているが、まだ広報等で周知ができていないので、現在のところ申込みはない。これから広報していく予定である。

令和4年度 一般会計決算

〔総務債〕

問 5840万円を予算計上しているが、調定額がゼロであるのはなぜか。

答 令和5年度に入ってくる予定であるため。

〔適応指導教室事業〕

問 キャロツ子学級の人数は。

答 9月1日時点で令和3年度は12名、令和4年度21名、令和5年度23名。

〔小中学校のタブレット端末〕

問 東小学校は190台と数が少ないのは人数が少ないからか。

答 生徒数に対応して配布しており、生徒数が少ない東小学校

では若干少なくなっている。

問 1人1台当たっているのか。

答 小学校、中学校全員当たっている。

〔地方債〕

問 地方債現在高が毎年少しずつ増えてきているが、経常経費が増えているというところか。

答 臨時財政対策債を毎年借入れしていることと、大規模な事業債による増加が要因である。

問 臨時財政対策債はずっと増え続けていくのか。

答 国の財源があれば普通交付税だけでなく普通交付税を補完する意味で臨時財政対策債が発行できるという制度になっている。それで借入れを行い財政運営をしている。毎年借入れしているので、そういう意味においては今後も借入れすることにより増えていく認識である。

問 臨時財政対策債という債権を少しずつ減らすことによって負債も縮小していくのか。

答 交付税と臨時財政対策債を足したものが従来の交付税である。臨時財政対策債は足りない分なので、ほぼ発行する形になると思う。

問 令和4年度分は大幅に借入れを減らしているのはなぜか。

答 少なく借りようとしたわけではなく、制度上、そこまでしか借りられず、裁量の余地がない。



現場視察を行う建設産業常任委員



たけうち きみひこ 議員
竹内 君彦

スポーツパークについて

主な施設利用者として想定される若い世代を対象にアンケート調査を実施する

問 徳島県でもプロバスケットボールチーム、徳島ガンバローズが今年からB3リーグに参加し、県内でも非常にスポーツが盛り上がりつつあります。

高橋町長の公約でもある「スポーツパーク構想」は、藍住町でスポーツをしている方には、非常に夢のある構想だと、大変期待している。

現在、「スポーツパーク構想」の進捗状況はどうなっているのか。

答 屋外競技のうち、スケートボードやBMX、フットサル、3人制バスケットボールなどが行える施設の整備を考えている。今年度中を目前に、スポーツパーク整備に関するアンケート調査を実施し、この結果を踏まえ、整備内容等の検討を進めていく。

自習室・自習スペースについて

要望を定量的に判断した上で、中学生の求める自習室や自習スペースのあり方を検討していきたい

問 藍住町中学生議会において、自習室を設置してほしいとの切実な意見をいただいたと思う。私も藍住町の中高生の保護者や子供たちから自習室を設置してほしいとの意見を聞くことがよくある。

自習室、自習スペースの確保についての進捗状況はどうなっているか。自習スペースとして図書館の一角を有効利用できればと思うが。

答 藍住町立の中学校に通う中学生を対象にアンケートなどによるニーズ調査を実施したい。その分析結果を踏まえ、町立図書館の調べ物コーナーと視聴覚コーナーの一部を自習スペースとして利用し、学校の長期休業期間に試験的に開放するなどの検討ができればと考えている。

体育館のネット予約システムについて

近隣市町を参考に検討を行いたい

問 他市町村でも、ネット予約など、体育館の空き状況などをネット検索できるようにしている。予約状況をネット検索できるようにしてはどうか。

答 体育館の予約等の管理運営業務は指定管理をしており、予約状況は町民体育館の窓口及び電話での問合せにより台帳で確認を行っている。ネット検索については、どのような形で対応が可能か検討していきたい。

問 あいずみスポーツクラブでは、年間の定期利用者を優先に体育館予約ができるようになっているが、定期利用者だけでもネット予約ができるシステムを取り入れてみてはどうか。

答 どのような対応ができるか、近隣市町の体育施設の対応状況などを参考に検討を行いたい。



藍住町民体育館



はやし 林 しげる 茂 議員

バーベキュー施設の計画 中止の要請書の対応

町の考え方を改めてホームページで公表する

問

高橋英夫町長に、8月17日住民グループ「藍住町を考える会」から計画中止を求める1313筆の要請書を提出し、「少数意見と切り捨てるのではなく、住民の声をくみ上げる場をつくってほしい」と訴えた。新聞やテレビで大きく取り上げられた。要請書に対する対応と中止の理由として5点挙げられているが対応を伺う。

答

バーベキューエリアをより良いものにするため、パブリックコメントによって皆様方の意見を反映させるとともに、意見に対する町の考え方を報告している。

この度、署名をいただいた要請書をお預かりしたことを受け、要請内容にお答えする形で事業に対する町の考え方を改めてホームページに公表する。

マイナ保険証が来年秋に廃止 の方にお知らせをしていきたい

問

カードの取得は任意であったが、保険証を廃止するという目的からマイナカードを事実上義務化した。保険証を来年秋には、廃止せよと号令をかけているのは、大企業である。すでに3兆円もの莫大な税金が投入されている。保険証の廃止に伴う町民の不安に対して、町としてどのような対応を考えているのか。

答

8月の広報で資格確認書で医療機関の受診ができることなどのお知らせをした。今後も国や関係機関から情報を収集し、お知らせをしていきたい。

防災対策について

東部地域への防災関連施設の設置について検討していきたい

問

防災対策は、災害から人命を守ること。東部の防災拠点に勝瑞城館跡を公園にして、太陽光発電設備を設置し避難施設を建設。施設には、戦国天下人三好長慶、遺跡の展示、勝瑞城館跡まつりなど歴史と文化を継承する歴史館にする。町の観光スポットにする。烏海議員、小川議員との共同提

案である。東部の防災拠点として住民の命と暮らしを守るとりでを要望する。

答

勝瑞城館跡公園は、史跡活用のための国庫補助金を活用して用地を取得しているため、建物などの設置ができない。東部地域に避難場所等の防災関連施設が少ない状況は認識しており、今後、設置について検討していきたい。



勝瑞城館跡公園



おがわ ゆきひろ 議員
小川 幸英

情報漏えい、官製談合について
検討会議において事務処理の改善、見直し等について取りまとめた

問 学校給食用肉の調達をめぐり特定の業者に他の業者の最低見積額を漏らし受注させたとして、官製談合防止法違反に問われていた元副町長奥田被告の結審が6月28日にあり、求刑どおり1年6か月であった。結審が終わった今、どのような検証が行われたか。

答 当時の担当者から聞き取りを行った。こうした結果を踏まえ、事務処理等についても改善、見直しを図ることにした。

問 当時の教育次長は記者に決裁までに副町長がいるが、4月26日の初公判終了後、担当職員に聞き取りを行ったところ、提出期限前に届いた見積書を開封していたと説明。これだけの事件が起きているのに職員に対して一切の処分はされていないのか。

いのはなぜか。

答 上司からの業務上の照会であり、起訴内容でも担当職員の責任は問われていないことから、懲戒処分には該当しないと判断し、服務上の措置を講じた。また、教育長は厳重注意処分がなされた。

防災対策について
速やかな支援ができるよう努めたい

問 新しく配布された津波、洪水、高潮、ハザードマップによると本町全域が0.5mから5mの浸水区域になっている。吉野川の氾濫が起きた場合、町内全域が浸水することだが、町民に対しどのように啓発していくのか。

答 ウェブ版のハザードマップも作成し、町ホームページから閲覧できるようにしているほか、出前講座や防災訓練で説明をしている。今後機会を捉えて周知を行い、早め早めの避難が実現できるようにしたい。

問 高齢者、障害者、車椅子、酸素吸入者、透析を受けている方の避難の対応は。

答 要支援者のうち、個別支援を希望する方には、個別避難計画書を整備。また、医療的ケアが必要な方にスムーズな支援が行えるようサポートブックの作成も進めている。

東中富桜づつみ公園について
近隣住民の方へは資料をポステイングにより周知を図っている

問 全員協議会の中で地元で説明することになったが、どうしてしなかったのか。

答 説明会では参加された方にしかお伝えすることができないことから、パブリックコメントを実施した。

問 桜づつみ公園整備事業で川や池に水を流す予定であったが水は流れていない。なぜか。

答 設備の損傷により使用を停止し、現在、修繕を進めている。公園の再整備完了に併せて運用を再開することを検討している。



桜づつみ公園



ながはま ひろゆき 議員
永浜 浩幸

防災・避難所運営について 防災訓練や出前講座などを通して周知、啓発を徹底していきたい

問 南海トラフ沿いの大規模地震は、平常時においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態である。本町の避難所運営マニュアルの事前準備にはどのようなものがあるか。また、事前に協議しておきたい内容はどのようなものがあるか。

答 自治会や自主防災組織などの地域の団体の皆様や町職員、施設関係者の関係者間であらかじめ役割分担や避難所運営のルールなどについて決めておくことが重要である。
今後、藍住町避難所運営マニュアルに基づいた避難所開設訓練や関係者会議などを実施し、顔の見え関係の構築や事前の取り決めを進めていきたい。

問 関東大震災で被災地支援に当たった徳島ゆかりの社会運動家・賀川豊彦さんは「平常からの訓練」の重要性を挙げている。訓練の一つとして、避難所運営ゲームHUGの実践の機会を設けてみてはどうか。

答 避難所運営ゲームHUGの有用性なども考慮した上で、今後、導入に向けて検討していきたい。



10月15日 藍住町防災フェス

中学校と高校の連携について 必要性の検討とともに有効な機会を模索していきたい

問 今年度、8月18日から27日、藍住町中学生海外派遣事業に12名の生徒が参加した。今後、英語教育に力を入れている藍住町の中学生と徳島北高等学校の生徒との交流を図る計画はあるのか。

答 徳島北高校で海外派遣を経験した生徒との交流が計画されている。

GIGAスクール構想について 参考となる実践例も様々な機関から紹介されている

問 全小中学校に学習端末を配備するGIGAスクール構想をめぐり、地域によって授業での端末の使用頻度に差が出ている。藍住町はどれくらいの数字か。また、今後の取組は。

答 学校、学級によって多少差はあるが、小学校で概ね3割程度の授業で利用している。中学校は教科や担当によってかなりの差があり、1割から5割の授業で活用している。
今後、子供たちの使う教科書のデジタル化が順次進んでいく見通しもあり、タブレットを活用した授業方法の模索ないし研究を着実に続けていくことが必要であると考えている。



もり 伸二 議員

コミュニティバス

導入は過度な財政負担となりかねず、一度運行を開始すると容易に廃止できないことから、非常に慎重な判断が必要

問

本町の公共交通機関は、JR勝瑞駅は北島町の町境付近に位置し、多くの路線バスが經由するゆめタウンも町の中心部からは離れた場所にあるため、公共交通機関へのアクセスが脆弱な状態にある。

公共交通機関を多くの町民が通勤や通学に利用すれば、二酸化炭素排出量を抑制するだけでなく、町内幹線道路の渋滞の緩和にもつながることから、公共交通機関へのアクセスとしてコミュニティバスを導入してはどうか。

答

本町としては、引き続きノリ乗りタクシー券事業の実施や勝瑞駅駐輪場を活用したサイクルアンドライドの推進、県とゆめタウン徳島が連携

して実施している店舗利用型パークアンドライドの推進、普及啓発により地域公共交通機関の利用促進を図っていく。

将来的に地域公共交通施策全体の中でコミュニティバスの必要性が高まった際に、改めて本町の地域の特性やニーズを踏まえ、導入を検討する必要があると考えている。

シルバー人材センター

インボイス制度開始により影響が大きいことは承知をしている

問

シルバー人材センターは高齢者の就労の場の確保に大きな役割を担っているが、インボイス制度が開始されると消費税の仕入れ税額控除がでさなくなり、経営に大きな影響を与える。

会員や利用者への影響を少なくすることやシルバー人材センターの事業継続を図るために、シルバー人材センター事業補助金を増額してはどうか。

答

高齢者福祉の観点から、状況を見ながら検討したい。

藍翠苑・勤労女性センター合築

引き続き検討を進めていきたい

問

藍翠苑と勤労女性センターを合築した複合施設に、高齢者用のお風呂や軽スポーツ等がで

きるアリーナを新施設でも整備する計画なのか。また、藍翠苑が高齢者、勤労女性センターが主に女性と、利用できる対象者に一定の制限があるが、整備後の利用者にも制限を設ける予定なのか。

答

2つの施設の利用者が共有できる講習会室、アリーナについては新たな複合施設においても整備したいと考えているが、その他の設備については現在の利用団体等と協議しながら検討を進めることとしている。また、なるべく利用者を制限することがないよう整備を進めたいと考えているが、老人福祉法に規定する老人福祉センターとして位置づけるか否かによっても制限が生じる可能性がある。



藍翠苑



勤労女性センター



議員 紙永 芳夫 議員

武道館老朽化に対する町の取組について

まずは施設の耐震診断や改修等を進めていく

問 本年6月議会で藍翠苑と勤労女性センター両施設の老朽化対策として、令和7年完成予定で新たな複合施設の検討をしているとのこと。そこで、藍翠苑と勤労女性センターの両施設に武道館をあわせた総合的な複合施設を検討してはどうか。



藍住町武道館

答 武道館の道場は毎日のようにスポーツ少年団や中学校の部活動が利用し、勤労女性センターのアリーナは卓球教室や体操教室などに利用している。このため、道場とアリーナを統合して共同利用することは現実的ではなく、武道館を含めた複合施設とすることは困難と考える。

あらゆる分野において女性の要職登用について

最適な人材を登用していく

問 本町役場での女性管理職の比率は約60%に近い状況であり、本町議会への女性議員の参画を感じている。本町でも将来、女性の副町長や女性理事の誕生を検討してはどうか。

答 性別にかかわらず組織マネジメントに優れた能力を有し、その職責を担うにふさわしい人が格が求められている。他方で政策・方針決定へ女性の視点を生かすことも重要であると認識している。

中学校の部活動の支援強化について

今後も地域連携や地域スポーツ活動への移行に向けた環境整備を行いたい

問 現在、教員の勤務の激務が大きな社会問題となっている。国のスポーツ庁では外部コーチ

制の導入を検討しているようだが、地方自治体独自では制度化し導入を図ることは難しい。外部コーチに関する本町の現状と現在の取組状況は。

答 現在、実情と課題を詳しく把握するため両中学校へ聞き取りなどを行なっている。モデル部活の休日における地域移行への準備を進めている。

町営住宅・水道使用料の滞納について

誠意のない悪質滞納者には厳しく対応をしていく

問 コロナ禍により滞納者宅への督促も制限されている。町営住宅及び水道使用料について、令和4年度の過年度分、現年度分の滞納額及び徴収率は。

答 過年度分の滞納額は7109万3800円。現年度分の滞納額は61万7500円、徴収率は98.34%。

問 令和2年、3年、4年の悪質滞納者に対して水道の給水停止、住宅の明渡しは何件あったのか。

答 水道の給水停止は令和2年度13件、3年度12件、4年度7件。令和2年度から7名の滞納者へ住宅の明渡し請求を行い、このうち5名が既に自主退去による明渡しをしている。



まえ だ あきら 議員
前田 晃良

防災対策について

女性の視点からの検証が必要であると
考えている

問

「防災月間」においては、防災意識をより一層高める取組を進められると思うが、災害対策をより深化させるため、町としてどのように取り組んでいるのか。また、町では毎年、いろいろな事業者と協定締結を行っているが、協定を締結した事業者はかなり増えていると思う。これら事業者と日頃の連携はどのように図っているのか。

答

役場での東日本大震災パネル展や町ホームページ、非常用持ち出し袋購入支援事業、小学生を対象とした夏休み防災自由研究募集などを実施。協定締結している事業者等には町主催の防災訓練に参加していただくなど、平時から連携を深めている。

問

災害時において、女性の視点は必要だと思うが、どのように取り入れているのか、また取り入れようとしているのか。

答

プライベートを確保する間仕切りや生理用品、粉ミルクなど備蓄品の充実を図ってきたが、本町の防災対策は男性職員が中心となって計画を推進してきたことから、今後は女性の意見を踏まえた対策となるよう、さらに検討を深めていく。



避難所用間仕切り

男性の育児休業の取得について

町としても積極的に取り組んでいく

問

男性の「家事や育児」に関わる時間が長いほど、第2子以降の出生割合は高い傾向にあるといわれているが、昨年度に本町で調査を実施した町内事業者における育児休業制度の活用状況についてどのようになっているのか。

答

規模の大きな事業所においては男性の育児休業取得の取組が進みつつあるが、中小規模の法人においては取組が進んでいない状況にあると思われる。

問

本町としても、男性の育児休業の取得を促進する必要があると考えるが、どのように取り組んでいくのか。

答

男性の育児休業取得に積極的な事業所を紹介する取組や育児休業に伴う収入減少の不安を軽減する奨励金制度について、検討を進めていく。

こども家庭センターの設置について

来年度開設に向け、準備を進めている

問

「こども家庭庁」の発足に伴い、全国の各市町村には子育てに関わる相談窓口を一元化した「こども家庭センター」を、原則として来年4月に設置することが求められているが、本町ではどのように取組を進めているのか。

答

今後、これまで構築してきた関係機関との連携を強化するとともに、サポート体制を確保し、本町の実情に応じたより効果的な支援機関がスタートできるよう計画的に取り組んでいく。

四国地区町村議会議長会表彰

林 茂 議員



小川 幸英 議員



10月13日、四国地区町村議会議長会研修会において、町村議会議員として19年以上在職し功労のあったものとして次の方が表彰されました。

四国地区町村議会議長会表彰(19年以上在職)

小川 幸英 議員
林 茂 議員

議員研修報告

過去の財政状況と比較して問題点を指摘し、町の将来に反映させるなど議会に与えられている重要な役割の一つである決算審査についての学びと信頼を得る議会についての考察を深めるため、8月28日、議会議事堂委員会室1において、議員研修会を開催しました。四国大学経営情報学部教授の小笠原章氏を講師に迎え、「決算の認定 決算審議のポイント」と題し、本町の財政状況の分析などを交えながら大変わかりやすく御講演いただきました。



講演後の質疑応答では、次のとおり質問が出され、講師から回答がありました。

問 総合文化ホールを特別会計にするのはいかがでしょうか。

答 文化ホールは、基本的には独立採算はできない施設であると思う。県の場合、特別会計は作っておらず、一般会計の中で処理されている。

今回の研修で学んだことをいかし、信頼される議会を目指して今後の議員活動に取り組んでいきたいと考えています。



10月6日、議会議事堂委員会室1において、「公職選挙法と議員活動」をテーマとした議員研修会を開催しました。

弁護士の中田祐児氏を講師に迎え、「公職選挙法が禁止していること—金銭、挨拶文を中心として—」と題し、実例を交えながら大変わかりやすく御講演いただきました。

講演後の質疑応答では、次のとおり質問が出され、講師から回答

がありました。

問 後援会活動として訪問したとき、名刺を置いてきてもよいのか。

答 選挙の直前でない。選挙が近い段階では、戸別訪問による事前運動とみなされることがある。

今回の研修で学んだことを念頭に置き、信頼される議会活動、議員活動をしていきたいと考えています。

第61回 四国地区町村議会議長研修会

10月13日、第61回四国地区町村議会議長会研修会が4年ぶりに徳島市で開催され、本町議会から6名の議員が出席しました。

研修会に先立ち、四国地区町村議会議長会表彰が行われ、本町議会からは、小川議員と林議員の2名が受賞されました。

研修会では、前半には共同通信社の久江雅彦氏による「岸田政権の行方～政局展望～」、後半には料理研究家の浜内千波氏による「今から本気で向き合う、体と食事のこと」と題した講演が行われました。



防災対策特別委員会視察研修

8月18日、防災対策特別委員会は、香川県坂出市役所において視察研修を行いました。

研修では次の講演が行われ、防災対策の先進地である坂出市議会及び坂出市の取組事例から、災害に備え議会や議員として何ができるのか、また、災害発生時に何をすべきなのかについて学ぶことができました。

- 危機監理専門官 笠井武志氏
「議会の防災訓練について」
- おとめ隊事務局 松岡未祥氏
「さかいで131(ぼうさい)おとめ隊について」



令和5年度 四国四県町村長・議長大会

9月28日、四国四県町村長・議長大会が香川県で開催され、本町議会から西川議長が出席しました。今年度は57町村長及び町村議会議長が一堂に会し、コロナ禍を経て3年ぶりの実施となりました。

大会では上程された6議案と決議、特別決議、共同アピールなどが審議され、いずれも原案のとおり決定されました。

大会終了後、元佐賀県武雄市長の樋渡啓祐氏による「10年を過ぎて色褪せない地方創生」と題した講演が行われました。



高松国税局課税部消費税課軽減税率・インボイス制度係長、長尾崇志氏より「インボイス制度について」と題して、講演が行われました。

藍住町議会防災訓練

9月15日、防災意識の向上と非常事態に備えるため、災害伝言ダイヤル(171)電話サービス体験利用を活用した防災訓練を実施しました。それぞれの居場所から自身の安否報告を議会事務局へ行うもので、全ての議員が参加しました。

災害時は電話がつながりにくくなり、相手も電話に出られない可能性があることを想定した訓練でしたが、「発災後の非常事態に、今回体験した手順がスムーズに実施できるのか」等、平時から考えておくべき課題が浮き彫りとなる訓練となりました。

参加
研修会に
議会議員
板野郡町

議

会

の

う

ご

き

8月

- 2日 徳島県町村議会議長会 第77回定期総会
- 3日 議会運営委員会 (徳島市)
 - ▼議会の会議に係る資料提出時期の要望について
 - ▼議員研修計画について
- 4日 板野郡議長会定例会及び県知事との意見交換会 (板野町)
 - ▼114号の校正について
- 8日 徳島県後期高齢者医療広域連合定例会 (徳島市)
 - 中学生派遣団結団式
- 10日 第26回板野郡町村議会議員研修会 (板野町)
 - 藍住町防災対策特別委員会視察研修(香川県) p14
- 16日 普通救命講習
- 18日 後期高齢者医療広域連合例月出納検査 (徳島市)
- 25日 議会運営委員会
 - ▼令和5年第3回藍住

9月

- 5日 議会運営委員会
 - ▼一般質問の通告について
- 6日 厚生常任委員会
 - ▼一般質問の通告について
- 7日 建設産業常任委員会
- 8日 総務文教常任委員会
- 13日 議会運営委員会
 - ▼一般質問通告の取下げ等申出について
- 28日 藍住町議会議員研修会 p13
 - ▼議会定例会の日程等について
 - ▼議会の会議に係る資料提出時期の要望について

10月

- 7日 南幼稚園・小学校運動会
- 6日 藍住町議会議員研修会
 - ▼115号の作成について
- 3日 板野東部消防組合臨時会 (北島町)
- 30日 東幼稚園・小学校運動会 p14
- 28日～29日 (徳島市)
 - 四国四県町村長・議長大会(香川県)
- 22日 後期高齢者医療広域連合例月出納検査
- 20日 議会運営委員会
 - ▼定例会の運営について
- 18日 金婚・ダイヤモンド婚記念品贈呈式
- 11日 倫理条例の一部改正について
- 7日 議会運営委員会
 - ▼藍住町議会議員政治倫理条例の一部改正に係る議案の上げについて



9月25日 町民広場にてキッチンカー出店

- 31日 中学生議会 p2 p3
- 26日 美波町議会視察研修
- 16日 茨城県石岡市議会会派視察研修 p4
- 14日 令和5年第2回臨時会
- 13日 北・西幼稚園、小学校運動会 p14
- 11日 第61回四国地区町村議会議長会研修会 p16
- 11日 藍住町議会町民との意見交換会

定例会案内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は12月です。

定例会日程や議会だよりについてはホームページに掲載しています。

次号は2月に発行します。

詳しくは議会事務局まで

お問い合わせ ● 議会事務局 ☎(088)637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政・議会だよりに関する御意見を寄せください。

投稿規定

- ① 住所・氏名・電話番号を明記。
 - ② 掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
 - ③ 字数は500字以内。
 - ④ 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。
- ※ 郵送またはメールによる投稿をお待ちしています。
議会事務局 E-mail:gikai@aizumi.i-tokushima.jp

交通安全は家庭から ～交通死亡事故ゼロを目指して～

皆さん、交通安全についてご家族で話し合われたことがありますか。

私が交通安全母の会に入会したのは、子どもが幼稚園に入園した時です。

当時、私は母の会の存在自体をよく知りませんでした。しかし、活動をしているうちに、地域の皆さんが交通安全のために熱心に活動をしていることを知り、「自分でもできることをやろう」との思いから活動を続け、早いもので35年となりました。

私が入会した当時、徳島県の交通事故は年間約5,000件、死者数は90人と、現在から考えてみますと、それは恐ろしいほどの数字でした。

しかし、現在の交通事故の件数は、最も多かった時と比べて4分の1にまで減少しており、これは私たち交通関係団体の地道な活動の成果でないかと思えます。交通死亡事故ゼロを目指し、母の会の「交通安全は家庭から」を基本理念として、地域が一丸となって交通安全活動を進めていくことが大切でないかと思えます。活動は地道で根気がいりますが、母親である私たちが行うからこそ大きな意味を持ち、人の心に響くものだと日々の活動を通して確信しているところです。

日常生活の中で、外に出る限り、交通事故に巻き込まれる可能性は誰にでもあるのです。



町民との意見交換会

10月11日、議会議事堂委員会室1において町民との意見交換会を開催しました。

司会進行者を永浜総務文教常任委員会副委員長が、記録者を前田厚生常任委員会委員長がつとめる中、御出席いただいた全ての方より御意見等をいただきました。

実施要綱に基づき、意見交換会の内容は、記録者が取りまとめて報告書を作成し、議長へ提出します。

また、意見交換会の結果は、その概要を本町議会だよりに掲載することとなっており、次号(116号)、御報告させていただきます。

出席者：藍住町民生委員児童委員協議会

議題：民生委員の立場から見た藍住町について

出席議員：正副議長、議会運営委員会委員長、常任委員会委員長、総務文教常任委員会副委員長、厚生常任委員会副委員長、厚生常任委員会委員



編集後記

山の木々も色を奏でる季節から、晩秋へと移り変わって参りました。道路交通法が改正により、今年4月1日から自転車運転時のヘルメット着用が努力義務となりました。子どもや高齢者の方々はもとより、全ての皆さんにできるだけ「自分の身は自分で守る」という考えを持っていただきたいと思います。

私たち町議会議員も地域の皆様とともに、「交通事故ゼロの町」を目指していききたいと思っております。

2023年は我が町にとって激震の年となつてしまいましたが、残りわずかとなり気忙しいさの中、町民の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。
(宮本 影子)

議会だより編集委員会

- | | | | | |
|----|----|----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 宮本 | 竹内 | 前田 | 永浜 | 紙永 |
| 影子 | 君彦 | 晃良 | 浩幸 | 芳夫 |